

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	40	-	事業名	公民館事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える	款	9	教育費
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	社会教育総務費
		政策分類	-		大事業	6	公民館事業
	その他（関係法令、要綱等）		社会教育法第5章、第2次長久手市生涯学習基本構想、長久手市公民館条例、長久手市公民館条例施行規則				
事業開始の背景、経緯等		昭和49年～					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・公民館の貸出し ・公民館の管理・運営を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公民館利用者（市外の方も可）					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公民館をより良い状態で市民及び公民館利用者に貸出し、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興・社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
	事業を構成する事務事業	① 公民館事務事業	改善・見直し	④			
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	予算			3,952	4,032	3,240
決算					3,685	3,739	3,070	
人件費(B)	千円	決算		5,042	3,502	4,833		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		8,727	7,241	7,903		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 稼働率	%	目標	-	60	60	60	50
			実績	57.3	58.4	54.5	43.9	
	B		目標					
C		目標						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年度実績を上回るように目標設定する。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 県内54市町村全てに公民館又はコミュニティ施設が設置されている。
------	-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) H28年度から公用利用を制限したことにより、稼働率は減少しているが、多くの一般の方に利用して頂けるようになった。文化の家改修の完了及び確定申告、無料税理士相談を他施設で実施した結果稼働率は減少した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 夜間6時以降の利用者が少ない。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成30年度から公民館の時間貸しが開始されるため、1時間単位の利用ができることや、利用者が少ない夜間6時以降の定期的な夜間利用が可能であることをPRする。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公民館事業										
番号	①	事務事業名	公民館事務事業		款	9	項	4	目	1	大	6	中	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和49年～		終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	適切な公民館の管理・運営を行い、市民及び公民館利用者に貸し出す。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	公民館を良好な状態で貸し出す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		3,952	4,032	3,240	3,229
		決算		3,685	3,739	3,070	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 公民館等管理委託						2,822	千円
② 損害保険料						114	千円
③ 消耗品費						75	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
公民館利用者数	人	目標	52,000	57,000	55,000	44,000	40,000
		実績	56,073	54,040	43,325	39,836	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
公民館の管理・運営を行った。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

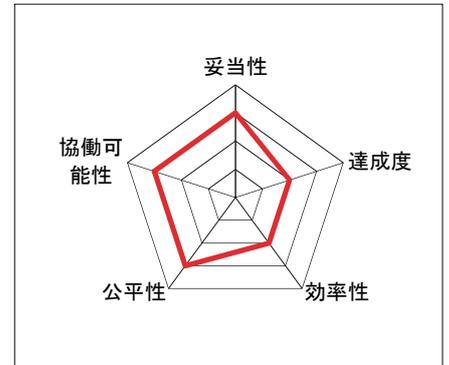
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
公用利用が減少し、多くの一般の方に利用していただけるようになった。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。
(何をどのような状態に改善したのか)
平成30年度からの公民館の時間貸しに向けて、金額の見直しを含めて準備を行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
平成30年度からの公民館の時間単位での貸出しに向けた準備を行った。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
夜間6時以降利用者が少ない

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
平成30年度から公民館の時間貸しを開始するため、1時間単位の利用ができることや、夜間6時以降、定期的な利用が可能であることをサークル等にPRする。